

SUCCES 防災調節池Ⅱ メンテナンス履歴

| Date | Version | 修正項目 |
|------------|---------|---|
| 2013/04/30 | 4.11 | <p>《機能追加項目》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Zip 形式のファイル圧縮解凍に対応しました。 <p>《改善項目》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Windows 8 に対応しました。 ・ [ヘルプーマニュアル]を Adobe Reader XI に対応しました。 ・ 2 池方式の調整池の副池から主池への流入量計算に主池の水位を考慮するようにしました。 <p>《不具合修正項目》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「貯留施設」画面の池形状入力欄において、「水深 H」が同値である行が連続する場合、「容量 V」が正しく計算されない点を修正しました。 ・ 降雨実績入力で降雨強度または降雨量を指定し、貯留施設内の浸透量算定法を貯留浸透モデルとした場合、誤った浸透量が算出される場合がある点を修正しました。 ・ 外水位がオリフィスより低いと貯留施設からの流出が終了するより前の時間で貯留追跡計算を中断する場合がある点を修正しました。 ・ 洪水吐きの計算が完了している既存データを開き、洪水吐きの計算書を出力すると設計洪水量 Q の値を 0.000(m³/s)と表示する点を修正しました。 |
| 2011/04/01 | 4.10 | <p>《改善項目》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Windows Vista および Windows 7 の 64bit 版に対応しました。 |
| 2009/09/14 | 4.00 | <p>《機能追加項目》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 洪水吐きおよび非越流部の天端標高の計算に対応しました。 ・ 2 池方式の計算に対応しました。 <p>《不具合修正項目》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 計算結果一覧表の最大雨量の単位が m³/s となっていた不具合を mm に修正しました。 ・ 放流施設が放流管(2)の場合の各種損失係数の和の最大値が 1.000 であったのを 999.000 まで設定可能としました。 <p>《改善項目》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 降雨強度式の選択画面において長野県型を長野県型（旧型）に表示を変更しました。 ・ 降雨強度式の係数 a の整数部および小数点以下の桁数を 4 桁に、係数 b の整数部を 6 桁まで設定可能としました。 ・ 流出係数の入力制限を 9.999 まで設定可能としました。 ・ 単位浸透量の整数部の桁数を 3 桁まで設定可能としました。 ・ 貯留施設の池底の標高の整数部を 4 桁まで設定可能としました。 ・ 貯留施設の許容放流量の整数部を 3 桁まで設定可能としました。 ・ 貯留施設の水面積を整数部 6 桁まで設定可能とし、それに伴い容量および浸透量の表示桁数を拡張しました。 |